



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2717例会 2016. 9. 14

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 53-11)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 細田(伴)君、橋本君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 島田副会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 柳戸信吾様

【会長報告】

島田副会長

小川会長御母堂様の通夜、告別式にたくさんの方にご会葬、また、9人にお手伝い頂き会長に代わり心より御礼申し上げます。昨日会長より会葬御礼のご挨拶の折、双柳の小川家は農地解放で90%以上の畑を解放されたと聞きました。古い家には屋号があり、小川家は「櫛」。双柳で「櫛大臣」と言うことで通じるわけでございます。「自治会館を造ろう」「山車を造ろう」等の話があった折にはまず小川勇さんのところへ行き寄付をお願いしてその金額がはっきり出た後で、ピラミッド式に寄付を集めるというのが双柳の常識となっております。お母様の武子様は頭の良い方で道で会いましても素晴らしい笑顔で声を掛けて下さる優しいお母様でした。お子様2人、お孫様2人を医者にされました。ご冥福をお祈りしたいと思います。

【幹事報告】

会長御母堂様の葬儀、お手伝い有難うございました。10/10外国人留学生日本語スピーチコンテスト「ロータリー賞」1万円を協賛。30年程前、国道299号脇に飯能RCで建てた「交通安全都市」の看板と木を「何とかして」との依頼が昨日ありました。例会後、理事で検討し至急返答したいと思います。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢中央RC

- ・10/10(月) 例会取消 (法定休日)

- ・10/17(月) 振替休日 9(日)所沢まつり参加

【出席報告】無届欠席1名 半田出席向上委員

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
55名	6名	48名	87.27%	96.36%

美味しく頂いているこの食事、皆さんおいしくらだと思いませんか。是非無届欠席の無いようお願いします。

【M U】

9/8 (所沢東) 半田君

9/13 (日高) 田辺君

【結婚・誕生日祝】

大崎親睦活動委員

◇会員誕生日おめでとう

4 木川君、9 中山君、19 土屋(良)君

22 神田(敬)君、28 土屋(崇)君

◇夫人誕生日おめでとう

11 大野(泰)夫人、23 森夫人、28 和泉夫人

◇結婚記念日おめでとう

大野(泰)君、大野(康)君、藤原君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・柳戸郷土館館長様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。 矢島(巖)君、半田君

吉島君、間邊君、和泉君、吉田(行)君

島田君、矢島(高)君、馬場君

・お誕生日祝い有難うございます。木川君

土屋(良)君、土屋(崇)君、中山君、神田(敬)君

・妻の誕生日祝い有難うございます。

和泉君、森君

・結婚祝い有難うございます。藤原君、大野(康)君
・早退 石井君、大野(康)君
本日計 43,000 円、累計額 184,002 円。
◎ 21 日例会当番は平沼、半田会員です。

【卓 話】

講師紹介 森プログラム委員長
1961年、飯能市生まれ。85年、明治大学卒業後、87年に市役所にご入所。90年の郷土館開設準備にも携わる。生涯学習課に異動、03年、郷土館に再着任。12年、館長就任。

地域振興に果たす郷土館の役割

飯能市郷土館 館長 柳戸信吾様

タクシーの運転手に「郷土館まで」と言っても半分位は分からない。「市民会館の隣にあるやつです」「ああ、ウラですね」「いいえ、オモテの郷土館です」と言っています。H2年開館、今年で25年経ちます。郷土館はれっきとした博物館です。博物館法に規程されており、館の活動、職員数、資料点数を申請し、H12年に「登録博物館」として認められました。県内の市立博物館は「浦和くらしの博物館民家園」「さいたま市立浦和博物館」「さいたま市立博物館」「戸田市立郷土博物館」「朝霞市博物館」「川越市立博物館」「入間市博物館」「行田市郷土博物館」と当館の7市9館。「狭山市立博物館」「所沢航空発祥記念館」は入っていません。

今、「郷土館は『地域の情報センター』です」と宣伝し、「地域の事は郷土館に聞けば何でも分かる」を目指しています。常設展示、特別展、講演会、学習会、資料・情報の収集、研究。最近は館外活動も多くなっています。力を入れているのが毎年の特別展「飯能炎上」(H23)はポスターが映画と間違われました。「山上の霊地」子ノ権現、竹寺、高山不動、岩殿観音。市内に4つの山岳寺院は珍しい(H24)。「この霊園はどこにあるのか」と聞かれたポスター。「飯能方面湖水の如し」明治43年、吾野駅周辺の水害、飯能の災害の歴史を取り上げる(H25)。「機屋の挑戦」絹ではない綿織物(H26)。「武蔵野鉄道開通」(H27)。市に関係があり魅力的なもの、地域の歴史を発展させるものを中心にしております。今年は「高麗人集結」高麗郡建郡1300年記念の特別展です。

「レファレンス」は調べ事に対する援助の事。「地域に関して分からない事があったら郷土館

に来て下さい」と宣伝しています。5、6年前までは図書館で対応していましたが直接郷土館に質問が来るようになり、年間150件程あります。非常に大事な事と考えております。

「出前講座」は学芸員が小中学校等に行つて話をします。H27年度は21件632人、今年も現在まで



に8件385人に実施。「飯能市の地理・歴史の概要を教えて欲しい」が多く、また、防災訓練に合わせた「災害史」や「渡来人」関係等の内容でした。

飯能市はまちの活力が低下し、山間地域は特に不振、少子高齢化で人口減少、「消滅可能性都市」にも挙げられ、市として対策を頑張っているところですが、郷土館も、文化の範疇だけでなく地域の現実的な課題に対して何が出来るか考えていかなければいけない。歴史が好きで人だけが郷土館に来るとい時代ではなくこれからは皆に役に立つ活動をしなければいけないと考えております。

具体的には、1つは「地域の情報センター」としての役割。今までの郷土館のあり方の発展形で、それを市街地活性化、山間地域振興にも向ける。もう1つは「他の機関との連携」。学校教育の質をより高めるとい形で子育てをし易くする等。そして、市民・企業・地域との連携を進め、一緒に考えていきたい。

今年から始まった「第5次飯能市総合振興計画」は今後10年の市の姿を計画したもの。「水と緑の交流拠点 森林文化都市はんのう」～変える10年！変わる10年！「飯能市から始まる日本の創生」。この中の「オンリーワンの森林文化都市創造プロジェクト」は、あけぼの子どもの森公園、宮沢湖周辺、飯能河原・天覧山周辺の魅力を高め、この3か所を回る形を構想し、山間地や市街地に誘うというもの。歴史系博物館として、自然を扱う事は無かった郷土館ですが、飯能河原と天覧山の中間に位置する都市回廊の中の一拠点として、この地域の魅力を出さなくてははいけないと考えております。飯能河原・天覧山周辺の魅力の1つは多くの種類の動植物。日本最小のカヤネズミ、ムササビ、ヌマトラノオ、等。谷津田の再生で多様性が増えた。もう1つは絶滅危惧種が多い点。エビネ、キンラン、オオタカ、オオムラサキ。これらが山深い所でなく市街地の近くにあるのが魅力。その自然に加え、歴史的な石造物等も全て含めたものを郷土館でアピールして行きたい。そこで来年度は常設展示を改装する事になりました。「今、山でどんなものが見られるか」「どんな鳥が飛んでいるか」を紹介し、その事で、そのまま帰るのではなくさらに進んで行き、あるいは確認する。もう1つ、「まち・山地・台地」それぞれの地域の特徴を示し、まちに誘う、山間地域に誘う、という展示を構成したい。

自然分野に関しては、市役所内で今までは担当する箇所があったようで無かった。飯能の何処を指して「自然に恵まれた」「豊かな自然」と言っているのか実は答える事が出来ないという状態だった。これからは自然の情報も含めて郷土館で発信する。飯能の魅力を積極的に発信し、そして、周辺の自然、まち、山間地域へ人々を誘う機能を果たしていく。今までにないパターンに変えようと思っております。是非皆様のご協力を頂ければと思います。

